

カンボジアにおける新型コロナウイルスの感染者数と影響について

岡山県カンボジアビジネスサポートデスク (I-GLOCAL Nob Vannak)

I.カンボジアにおける感染者数とワクチン数

ここ数ヶ月で、新型コロナウイルスの感染者が減少傾向に転じる国もある中で、カンボジア国内の感染者数は増加しつつある。2021年6月16日までに新型コロナウイルスの感染者は累計で4万人強であり、そのうち死者数が368人、医療従事者の感染者が約5千人である。カンボジア健康省の情報によると、2021年6月15日までに、1回目のワクチン接種を終えた人は約300万人に上り、国内のワクチン接種の対象である、およそ1千万人のうち、30.77%がワクチン接種を完了したと報告されている。

No.	ワクチンの種類	1回目ワクチン		2回目ワクチン		ワクチン接種率(1回目)
		ワクチン接種済みの人数		ワクチン接種済みの人数		
		合計	女性	合計	女性	
1	Sinopharm/Beijing	1,018,693	450,670	807,881	343,856	30.77%
2	COVISHIELD (Astrazeneca)	162,404	79,564	155,414	76,351	
3	Sinovac	1,895,678	936,298	1,627,843	789,220	
合計		3,076,775	1,466,532	2,591,138	1,209,427	

上記の情報は2021年6月15日に健康省のフェイスブックから参考

ワクチン接種



II. ビジネスと労働者に対する新型コロナ影響

- 会社/雇用者

カンボジアでは2021年の年始から新型コロナの感染者が徐々に増加し、企業運営にも大きな影響をもたらしている。収入が減少し、利益を出せない企業も多く、閉鎖や休眠措置を選択する企業も増えている。

- 労働者

会社の休眠等により休職となった場合には、通常の30%~80%減額の給与支給を強いられる場合が多く、労働者の生活にも大きな影響を与えている。

III. カンボジア国内の日常生活状況

カンボジア政府は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置として、プノンペン市内に20時以降の外出等を規制する通行禁止省令を発令した。プノンペン市内の感染者数が増加するにつれて、ロックダウンや市場の閉鎖にも踏み切ったが、それにより肉や野菜といった食料品はコロナ前の約2倍の価格に高騰し、低所得層の国民に向けて政府は食料品の支給も行った。

ロックダウン（2週間）



スーパー閉鎖



ロックダウン時のプノンペン

ロックダウンが解除された後、プノンペン市内は感染者数に応じて、地域毎に規制が設けられた。また、外出規制に伴い多くの企業においてリモートワークや在宅勤務が導入されることとなった。一方で、労働訓練省の発表により、ワクチン接種を受けた労働者のみオフィスへの出社が許されるとの指示もあり、各企業は相次いでワクチン接種を進めている状況である。

その他、プノンペン市内では、税務局、労働訓練省、経済財務省、喫茶店やショッピングモールなどへの入店時は、アルコールでの手指消毒、マスク着用、体温測定が義務付けられている。また、店頭の前にはQRコードが設置されており、利用者は自身のスマートフォンでQRコードをスキャンすることが求められており、これにより感染者の行動履歴等もチェックしている。

Scan QR



その他の状況

- 教育現場では主に小学生に対して、E-learningを導入しているが、特に郊外の生徒はスマートフォンやコンピューターを保有していないため、利用者にも格差が出ている。また、中高大学生は自宅での自習が中心で、質問がある場合にはSNSやアプリ等により教員へ連絡をするといったやり方をとっている。カンボジアにおいてもZOOMとGoogle meetingがよく利用されている。

IV. 終わりに

昨年は比較的感染増加が抑えられていたカンボジアも、今年に入り変異株等の影響により感染が拡大している。カンボジアは観光業が主要な産業であり、コロナ禍での国内経済への打撃は大きく、今後ワクチン接種を進めていく中で、国内及び国外への行動規制の緩和に期待したい。

参考：

1. 健康省のフェイスブックのサイト
<https://www.facebook.com/MinistryofHealthofCambodia/posts/4123329777706097>
2. プノンペン政府のサイト
<http://phnompenh.gov.kh/news-press-releases/post/ann19621/>
<http://phnompenh.gov.kh/news-press-releases/post/ann270421a/>
<http://phnompenh.gov.kh/news-press-releases/post/ann23421/>

【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク（株式会社 I-GLOCAL 内）>>

【所在地】：東京都中央区銀座1丁目18番2号 辰ビル7F

【担当者】：鎌塚 麻由子（かまづか まゆこ）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ホーチミン事務所内）>>

【所在地】：14th Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1,
Ho Chi Minh City, Vietnam

【担当者】：鈴木 友紀（すずき ゆき）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ハノイ事務所内）>>

【所在地】：Room 1206, 12th Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower ,
241 Xuan Thuy Street, Cau Giay District., Ha Noi, Vietnam

【担当者】：中村 祐太（なかむら ゆうた）

<<カンボジア現地デスク（I-GLOCAL カンボジア事務所内）>>

【所在地】：13th Floor, Phnom Penh Tower, #445, Monivong Blve (St.93/232), Sangkat Boeung Pralit, Khan
7 Makara, Phnom Penh, Cambodia

【担当者】：Mak Brathna (マク・ブラタナ)

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室（086-226-7365）までご相談ください。